- て建屋倒壊・浸水等の被害。 ・地震により、**漁港、共同利用施** 設(荷さばき施設、冷凍冷蔵施 設、給油施設等)の被害、**漂流 堆積物による漁場の被害等**が発

の損傷等の被害。

甚大な被害。

市などで多数の山腹崩壊が発生

し、林地や治山・林道施設等に

・また、**製材工場等61施設**におい

・地震により、石川県内69漁港

のうち60漁港、富山県10漁港、

新潟県3漁港で、防波堤、岸壁

特に、石川県の輪島市珠洲市等

の外浦地域を中心に最大4m程

度の地盤隆起による被害が発生。

生。隆起した港では座礁や損傷 により移動できない漁船が発生。

山腹崩壊(1月の地震)

復旧工事が完了し、順次操業が再開。

1月の地震により、農地や水路、ため池などの農業用

施設、農業用機械・ハウス、畜舎などに甚大な被害。

の豪雨により約400haの農地で土砂・流木等が堆積。

・さらに、地震からの復旧・復興の途上で、収穫期(9月)

(1月の地震)



鹿磯(かいそ)漁港の地盤隆起

## (成果(令和7年8月時点))

漁港等の復旧に取り組む等、農林水産分野の生業再建を県・市町等とも連携し、切れ目なく支援。

豪雨により約400haの農地に土砂や流木が堆積したが、 このうち**今春の作付けを目指していた農地約170ha**に ついては、予定通り**復旧が完了**。

〇地震被害及び豪雨被害に対して同様の支援を措置。被災農地、山腹崩壊地、漁港等は地元調整を進め、応急対策を実

〇相談窓口における伴走支援による地震・豪雨に係る支援策の活用促進、一枚でも多くの農地復旧・営農再開、

施。大規模な被災箇所は直轄代行等により復旧工事を実施中。豪雨により農地約400haが被災したが、このうち約170ha

で復旧が完了。令和7年は約2,000haの水田で作付け見込み。製材工場等49施設で営業再開。地盤隆起した漁港でも仮

・令和7年は約2,000haの水田で作付け見込み。

【奥能登4市町における水田の令和7年作付け状況】

令和5年の水稲作付面積:約2,800ha

約1.800ha

約200ha

不作付け 約800ha

作付け見込み 約2,000ha



令和7年5月末までに全箇所で **応急対策を完了**し、本復旧丁事 に着手。

・復旧支援により製材工場等 49施設で営業再開。



山腹崩壊の応急対策完了 (大型土のう設置)

- ・石川県の北部6市町では、施設が復 旧するとともに、海女漁、刺し網漁、 底びき網漁(ずわいがに漁を含む) 等が再開し、漁獲も順調に回復。
- ・輪島港の復旧に伴い、**舳倉**(へぐら)**島** 周辺での海女によるサザエ・ アワビ漁が令和7年7月より再開。



海女漁の水揚げ

- 旧に着手。
- ・地盤隆起等による甚大な被害を受け た**外浦地域の16漁港**のうち、優先 的に機能回復を図る漁港等11港は 仮復旧により陸揚げ機能を回復し、 本復旧に向けた調査・設計に着手。



仮復旧工事により水揚け

- (今後の課題と対応方針)
- 現地に設置した相談窓口において、 国、県等が連携して**伴走支援**を行 い、支援策の活用を促進。
- ・奥能登地域では、引き続き、国、 県、市町及びJAが一体となって、 円滑な復旧工事に向けて調整を進 める。特に、不作付け地のうち約 200haについては、令和8年の 営農再開を目指す。
- ・復旧工事を行う**建設業者の確保**に ついて、業界団体に引き続き要請。
- ・山腹崩壊・林道施設等の復旧工事を行う建設業者の
- ・県、市町、地元との調整を進め、 山腹崩壊・林道施設等の早期復旧を 目指す。

確保について、業界団体に要請。

再開を望むすべての製材工場等で 営業再開できるよう、支援を継続。



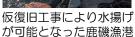
相談窓口での伴走支援

- ・引き続き、漁港や共同利用施設の復 旧等を進め、被災地の漁獲の更なる 回復に取り組む。
- ・現地支援拠点(穴水町)を活用し、 県や漁協等との連絡調整等を継続。



修復した砕氷貯氷施設

・地盤隆起のない地域では、順次本復



- ・地盤隆起のない地域の漁港について、今後、本復旧 工事に着手後概ね3年間で復旧工事の完了を目指す。
- 地盤隆起等による甚大な被害が発生した外浦地域の 仮復旧した11漁港について、本復旧工事に順次着 手。5漁港は漁業関係者等により復旧方針を協議中



(被害)